

シングルだけど、ひとりじゃない！ 5人の子どもを育てる働くママ

ワーク・ライフ・バランス

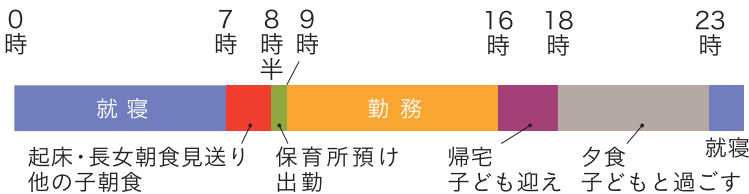
西村いずみさん / 35歳

グループホームさわやかテラス二日市 パート職員
介護職員初任者研修修了

キャリア

23歳頃	長女出産、パートをしながら子育てする
29歳頃	長男出産、デイサービスで勤務する
31歳頃	次女出産
32歳頃	三女出産
33歳頃	次男出産、グループホームに転勤する

ある日の1日



POINT

- 母の支援と事業所の理解を得て子育てと仕事を両立
- より良い介護を目指しご利用者にきめ細かく目を向ける
- 介護の経験蓄積と資格取得でさらなる飛躍をめざす

福祉の仕事始める前は何かをしていた？

— 様々なパートを経て、
29歳で介護の世界へ飛び込む

高校を卒業して、お弁当屋さんやパチンコ屋さんなど、いろんなパートをしてきました。職場の先輩から「今、介護っていう仕事があるよ」と教えてもらったのが、介護を知るきっかけです。介護には馴染みがなかったのですが、パチンコ屋さんって、年配のお客さんが多いんですよ。だからよくお話しをしていました。祖父とも仲が良かったので、同年代よりも年配の人と話す方が好きだったかもしれませんね。

ひとり親家庭なので私が働かないといけないし、長く続けられる仕事をしたかったんです。29歳の時に、介護の初任者研修を受講しました。ハローワークでアドバイスをもらい、研修の受講料やテキスト代が免除されたのは助かりました。

— 事業所の理解と母の支援で
子育てと仕事を両立

研修が終わってからは、すぐにデイサービスで働き始めました。子どもたちがいるので、夜勤がある仕事は難しいかなと思って、デイサービスにしました。

いま勤めているのはグループホームですが、子どもを優先したい私の気持ちを理解していただき、出勤日は平日の日勤だけにしてもらっています。子どもの体調不良で急に休むことになっても、「大丈夫だよ」と言ってくださいます。本当にありがたいです。働きやすくて1番長く続いています。去年の七五三は、3歳の次女を事業所に連れていき、晴れ姿をお披露目したら、入居者さんをはじめ皆さんがとても喜んでくれました。平日は、近くに住む母が、食事や子どもの面倒をみてくれるので助かっています。

！ 福祉の仕事をする前と後で、イメージは変わった？

— 介護の幅の広さを知り、さらにキャリアアップをめざしたい



今は、おむつ交換などの介助もしています。抵抗がある人もいるかもしれませんが、私は何ともありません。子どもが多くて慣れているからですかね（笑）私はラフに話しすぎることもあるので、入居者さんとの話し方には注意するようにしています。仲良くするのは違う、ということも、この仕事を始めて知ったことです。人生の先輩でもあるので、親しき中にも礼儀ありですね。事業所全体が、入居者さんに楽しんでもらえる方法を考えていますが、私もただ仕事をこなすのではなく、入居者さんにもっときめ細かく目を向けられるようになっていきたいです。

介護の仕事はいろいろな職種があって面白いです。これからは、介護福祉士やケアマネジャーの資格にも挑戦して、ステップアップしていきたいと思っています。ただ、仕事と家事を終えて、子どもたちを寝かしつけた後に勉強するのはなかなか大変ですね。一緒に寝落ちしてしまうこともあります。

！ 仕事以外はどんな生活をしている？

— 5人の子どもたちにかかりきり、大変ですが至福の毎日です

長女がバスケットをやっているので、試合や当番の日は観に行き、バスケの練習がある日曜日は送迎をしています。今はコロナ禍で、子どもたちを公園や買い物にも連れて行ってあげられないのがつらいですね。なので、家でクッキー作りやDVDを観たりしています。

子どもの誕生日は休みを取って、誕生日の子がお母さんを独り占めする特別な日を作ってあげます。みんな自分の誕生日が来るのが楽しみで、「来年はここに行きたい!」と、次の予約も入ってるんです。誕生日、クリスマス、正月と出費が嵩みますが、そのために働いているようなものですね（笑）

寝るときは私の横に寝ようと争奪戦が始まって、もみく



ちゃになります。そして子供の温もりを感じながらいつの間にか一緒に眠ってしまいます。こうして1日も1ヶ月もあっという間に過ぎて行く、これが幸せでもあります。

取材を終えて

ニコニコの眩しい笑顔が印象的な西村さん。子どもが小さいうちはできる限りそばにいてあげたいと、あえてパートを選択されたそうです。子育てもご自身のステップアップも、応援しています。